



寄付された食品を受け取る第一学院高の生徒ら。奈良市の商業施設「ならファミリー」で

余った食品 必要な人へ 第一学院高生ら フードドライブ

奈良 第一学院高校奈良キャンパスの生徒20人が24日、奈良市の商業施設「ならファミリー」で、家庭や職場で食べきれない食品を持ち寄ってもらうフードドライブを実施した。

経済的に苦しい家庭の子供らが給食のない夏休み中、満身に食べられない事態を防ごうと企画。米や缶詰、チョコ菓子などが次々と届けられた。多いときには20人ほどが行列を作る盛況で、生徒らが丁寧に対応していた。

同校は地域の課題を発見し、その解決にチャレンジするプロジェクト型学習を取り入れている。今回は、NPO法人フードバンク奈良の協力のもと、実際の現場を体験。寄付された食品を保管する倉庫を見学し、食品の仕分けをした。植村圭翔さん（2年）は「寄付してくれる人がたくさん集まってうれしい」と笑顔を見せた。集まった食品は、フードバンク奈良が市内の一人親家庭などに届けることにしている。 【木谷郁佳】